

No. 1560

故岸元総理合同葬

— 日本武道館 —

故岸信介元総理の内閣・自由民主党合同葬儀が9月17日、日本武道館で行なわれました。

戦前は東条内閣で商工大臣、戦後はA級戦犯容疑で拘置され、公職追放解除後政界に復帰。保守合同、日米安全保障条約の改定を手がけ、総理退陣後も政界に影響を及ぼし8月7日90才で死去しました。黙とうのあと中曽根首相の追悼の辞。

皇太子殿下、同妃殿下の供花。

娘婿の安倍自民党総務会長、福田、鈴木元首相の献花。さいごに各界代表、一般参列者による元総理の冥福を祈る献花が遅くまでつづきました。

ジョンソン強し

— 東京国際陸上 —

東京国際陸上競技大会が9月23日、東京・国立競技場で9ヶ国27人の外国選手も参加して行なわれました。

先月、ローマでの世界陸上で金メダルをとった選手6人が出場しました。

男子走高跳びはパトリック・ショーベリ（スウェーデン）が華麗なフォームで2メートル31センチを跳び優勝。

棒高跳びではセルゲイ・ブブカが5メートル65センチから一気に5メートル90センチに挑み見事クリアー。第一人者の実力を見せつけました。

「世界一早い男」となったベン・ジョンソン（カナダ）の男子100メートル。自からのフライングのため2回目は「スタートの神様」らしからぬスタート。タイムも10秒29と彼にとっては不満な記録。

しかし隣のコースを走った日本の不破（法大）は、ジョンソン顔負けのスタートで2位とはいえ飯島、不破、太田がもっていた10秒34を0秒01破る10秒33の日本新記録をマークしました。

今年の競技生活は今夜で終るというジョンソン選手。来年のソウル・オリンピックでは今年ローマで出した9秒83を破る世界新記録を期待したいものです。